

別記様式 2

だいで「はつながは」

1. 育成機関

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター

2. 来歴

育成期間：平成 11 年 3 月～平成 25 年 3 月
交配親：九州 131 号²／／十系 758 号／九州 131 号（後のサチユタカ）
旧系統名：九州 161 号

3. 主要特性

- ・「フクユタカ」に比べ、短茎で耐倒伏性が高いため、狭畦・密植栽培に適する。
- ・粗蛋白質含有率が高く、豆腐加工適性も良好である。
- ・「はつながは」の名称は九州研として初めての長葉大豆品種であることを表す。

4. 特性概要

(1) 生育特性

- ・「フクユタカ」より 10 日ほど早熟である。
- ・「フクユタカ」より主茎長が短く、生育中の倒伏も少ない。
- ・標準播種密度では「フクユタカ」より収量が少ないが、密植では多収となる。

(2) 裂莢性と品質特性

- ・裂莢性は「サチユタカ」並の“易”である。
- ・裂皮粒の発生が少なく、外観品質に優れる。
- ・粗蛋白質含有率が高く、豆腐の凝固性が良好で豆腐破断強度が高い。

5. 栽培適地

暖地および東海以西の温暖地（九州、四国、中国、近畿、東海地域）

6. 品種登録出願状況

（出願）平成 26 年 5 月 14 日（出願番号：第 29217 号）
（出願公表）平成 26 年 10 月 7 日

7. 予算区分

農林水産省委託プロジェクト研究「水田の潜在能力発揮等による農地周年有効活用技術の開発」（戦略作物等の省力・多収生産技術の開発委託事業）

系譜図

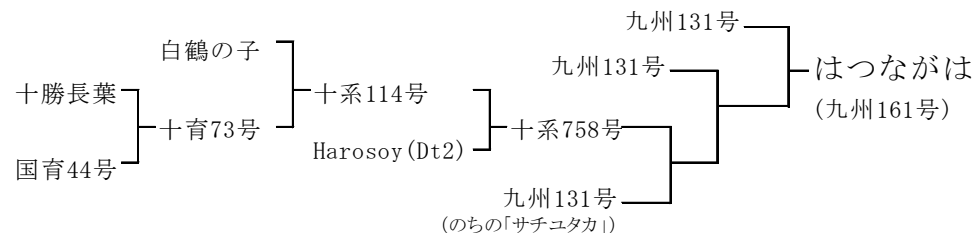


表 1 生育特性

（育成地：熊本県合志市、平成 22 年～25 年）

	標準栽培		密植栽培	
	はつながは	フクユタカ	はつながは	フクユタカ
成熟期(月・日)	10.24	11.2	10.21	11.1
主茎長(cm)	38	67	49	71
生育中の倒伏	無(0.0)	無(0.3)	微(1.4)	多(4.0)
収量(kg/a)	36.0	37.8	35.0	33.9

注)密植栽培は H21、H22 年の 2 カ年の平均値

表 2 裂莢性と品質特性

（育成地：熊本県合志市、平成 22 年～25 年）

項目 \ 品種名	はつながは	フクユタカ	サチユタカ
裂莢の難易	易	中	易
60°C-3h での裂莢率(%)	94.1	90.2	94.6
裂皮粒の発生程度	微(1.0)	微(0.8)	少(2.2)
子実の品質	中の上	中の中	中の中
粗蛋白質含有率(%)	46.8	43.9	46.7
豆腐破断強度(g/cm ²)	72.6	69.7	49.2

注)裂莢の難易は温風乾燥処理(60°C-3h)での裂莢率から判定

注)豆腐は H22、H24 年産大豆を評価した平均値

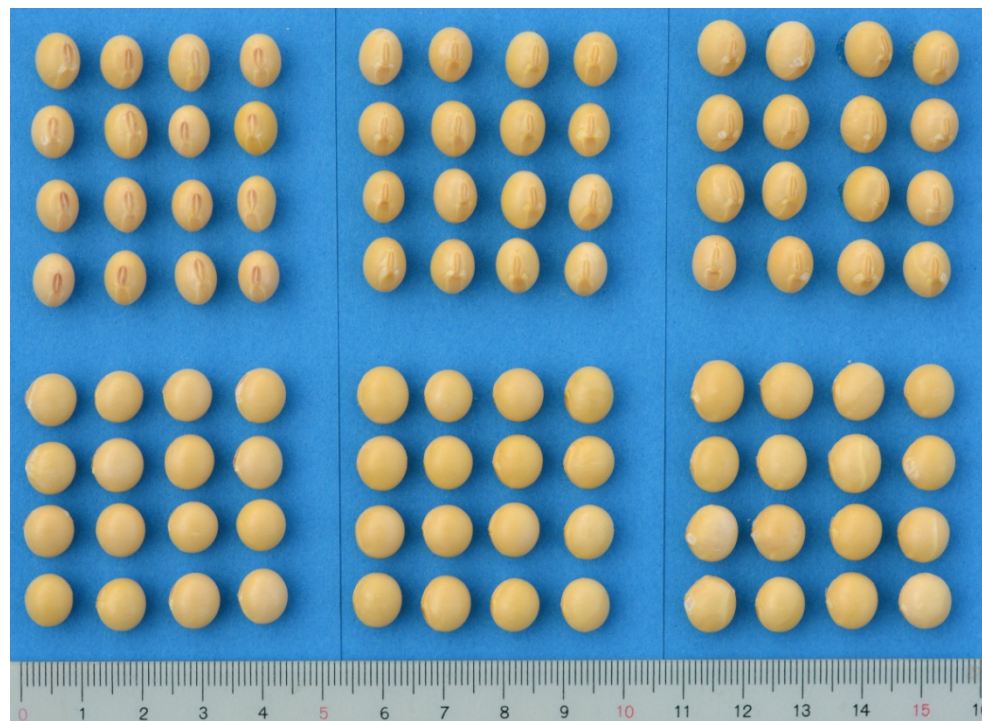
2枚目：写真

草 姿



左「フクユタカ」、中央「はつながは」、右「サチユタカ」

子 実



左「フクユタカ」、中央「はつながは」、右「サチユタカ」